

新栗の木緑地リニューアル基本計画

基本的な考え方

1) コンセプト

みんなが憩える 明るい緑地

新栗の木緑地の“機能の充実”を図り、**地域住民の憩いの場**としてリニューアルします。

みんな：子どもから高齢者までのあらゆる世代の地域住民

憩える：散策や休憩だけでなく、レクリエーションや交流などの様々な活動の場として親しまれる

明るい：樹木の間隔が確保され、見通し・風通しがよく、将来に渡って維持管理がしやすい

みどりに関する新潟市の方針（出典：新潟市緑の基本計画 2-30 ページ）

- ◇ 阿賀野川、栗ノ木川をはじめ、区内中心部を流れる通船川などの**水辺環境の保全**に努め、**市民が親しめる水辺空間**を創出します。
- ◇ 公園や街路樹の緑の質の向上と量を拡充し、**安心安全で潤いのある景観形成**に努めます。
- ◇ 市民と共に、**公園利用のルールづくり**や**市民参加による維持管理のしくみづくり**などを進め、**誰もが利用しやすい公園**を目指します。

2) 整備方針と主な機能

方針1 “みんな”が緑に親しめる空間の整備

- 誰でも気軽に親しめ、愛着を持ってもらえる緑地を整備する。
- 新たな生活様式の中で、緑地の利用促進につながる新たな空間を整備する。

キーワード：歩きやすい遊歩道、広いスペース、親子向けの環境 など

方針2 誰もが利用しやすく“憩える”空間の整備

- 緑地内に安全かつ円滑な歩行者動線を確保する。
- 利用者が語り合い、休憩できるスペースを整備する。

キーワード：休憩しやすい環境、バリアフリー、水辺を感じる空間 など

方針3 官民協働で維持管理がしやすい“明るい”空間の整備

- 高木などの伐採や管理用車両の乗り入れなど、維持管理の負担軽減につながる環境を整備する。
- 死角を減らし、明るく、誰もが安心して利用できる環境を整備する。

キーワード：官民協働（除草・清掃、四季を感じる樹木の育成等）、老木の伐採、外灯の明るさ など

緑地機能

- ① 生物の生息・生育環境の場
- ② 工場地帯周辺でうるおいある水辺と緑の空間を提供する場（伐採・剪定、植樹、花壇、芝生広場）
- ③ 安心・安全に緑地を利用できる施設（遊歩道、外灯、沿川の防護柵、出入口のバリアフリー化）

レクリエーション機能

- ④ 健康・体力づくりの場（ランニングコース、多目的広場）
- ⑤ 休憩・談話の場（屋根付き休憩所、ベンチ）
- ⑥ 子育て世代が集う遊び場（遊具、水飲み・手洗い場）
- ⑦ 地域コミュニティを活性化する交流の場（多目的広場）

協働による維持管理

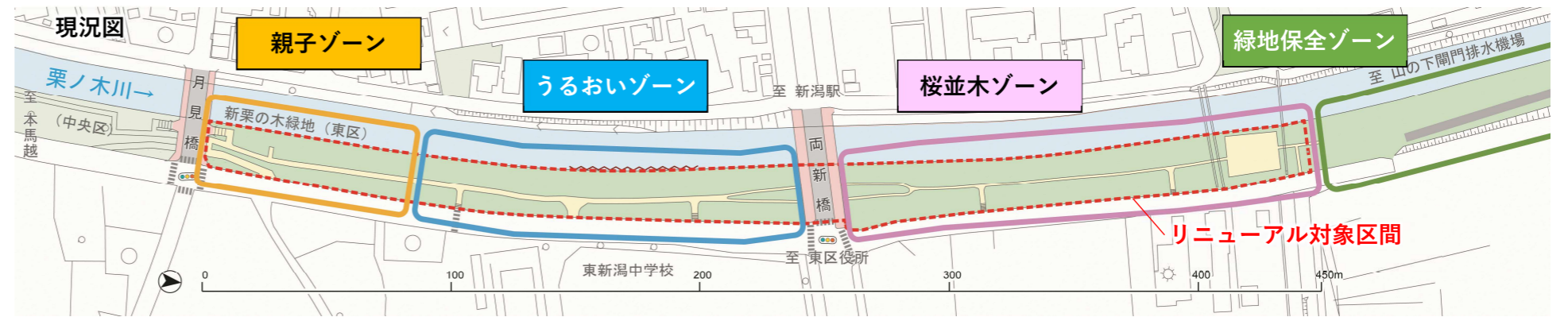
- ◇ 維持管理の負担軽減につながる環境（管理用通路・乗り入れ口、水道、舗装）

新栗の木緑地リニューアル基本計画

整備イメージ

1) ゾーニング

- 緑地をニーズや特徴に応じて4つのゾーンに分類します。
- 4つのゾーンの考え方や具体的な整備内容は以下のとおり。



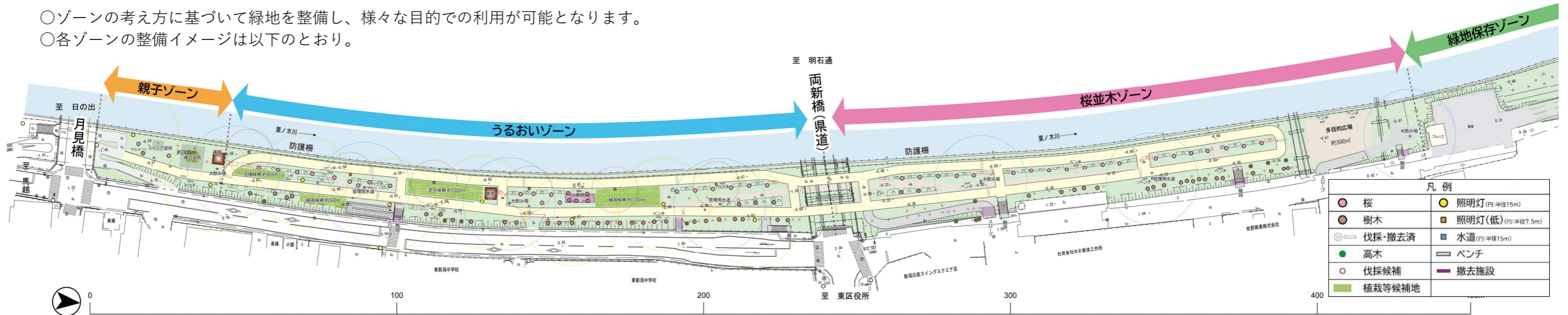
各ゾーンの考えた方と課題・具体的な整備

	親子ゾーン	うらおいゾーン	桜並木ゾーン	緑地保全ゾーン
ゾーンの考え方	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て世代から「子どもを連れて遊び」へのニーズが多い。 ●月見橋からの見通しが良く、周辺住宅地から最もアクセスしやすい場所。 ⇒ <u>幼児を連れて親子で一緒に遊べるエリア</u> とする。	<ul style="list-style-type: none"> ●全世代から「散歩・散策」へのニーズが多く、毎日の通学・通勤のルートとしても利用されている。 ●「四季」や「水辺空間」を感じられる公園として、普段使いしやすい場所。 ⇒ <u>四季と水辺を感じながら散歩や通学ができるエリア</u> とする。	<ul style="list-style-type: none"> ●川沿いに形成された「桜並木」は地域の方から愛着を持たれており、来訪目的として「桜の花見」が多い。 ●「体力・健康づくり」や「地域の交流イベント」へのニーズに対応できる、未利用の広場がある。 ⇒ <u>春は桜並木に親しめ、普段は健康・体力づくりや地域のイベント広場として利用できるエリア</u> とする。	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの樹木が繁茂し、様々な生物が生息している。 ●周辺が工場地帯で園路は行き止まりのため、利用しづらい。 ⇒ <u>生物が生息・生育する緑地として樹木を保全するエリア</u> とする。
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・工場地帯周辺でうらおいある水辺と緑の空間を提供する場・生物の生息・生育環境の場 ・安心・安全に緑地を利用できる施設 ・休憩・談話の場 ・子育て世代が集う遊び場 	<ul style="list-style-type: none"> ・工場地帯周辺でうらおいある水辺と緑の空間を提供する場・生物の生息・生育環境の場 ・安心・安全に緑地を利用できる施設 ・健康・体力づくりの場 ・休憩・談話の場 	<ul style="list-style-type: none"> ・工場地帯周辺でうらおいある水辺と緑の空間を提供する場・生物の生息・生育環境の場 ・安心・安全に緑地を利用できる施設 ・健康・体力づくりの場 ・地域コミュニティを活性化する交流の場 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の生息・生育環境の場
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で行きたくなるような施設の設置。 ・親が安心して子どもと遊び、休憩できる環境の構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四季と水辺空間が感じやすい環境の構築。 ・様々な世代・目的の来訪者が、安全で安心して利用できる環境の構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜並木の保全・育成と、花見スペースの確保。 ・体力づくり・健康づくりと、地域の交流イベントが開催しやすい環境の構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木の保全。
具体的な整備	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の最適化（伐採・剪定） ・幼児用遊具の設置 ・水飲み・手洗い場の改良（バリアフリー型） ・東屋の新設 ・ベンチの更新 ・沿川の防護柵の更新（高さ 1.2m の転落防止柵） ・遊歩道の拡幅と路面舗装 ・照明灯の更新・増設 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の最適化（老木・高木の伐採、植樹） ・遊歩道の拡幅・新設と路面舗装 ・階段・スロープの新設（バリアフリー型） ・照明灯の更新・増設 ・東屋の新設 ・ベンチの更新・増設 ・水飲み・手洗い場の改良（バリアフリー型） ・沿川の防護柵の更新（高さ 1.2m の転落防止柵） ・芝生広場・花壇の設置（地域による管理が必要） 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の最適化（老木・高木の伐採、必要に応じた植樹） ・遊歩道の新設・拡幅と路面舗装 ・運動（ストレッチ・体操）や地域による交流イベントが開催できる多目的広場 ・階段・スロープの新設（バリアフリー型） ・ベンチの更新・増設 ・沿川の防護柵の更新（高さ 1.2m の転落防止柵） ・水飲み・手洗い場の改良（バリアフリー型） 	※県による護岸工事の用地となっており、現状の利用頻度も少ないことを考慮し、今回のリニューアルの対象外とする。

新栗の木緑地リニューアル基本計画

2) 各ゾーンの整備イメージ

- ゾーンの考え方に基づいて緑地を整備し、様々な目的での利用が可能となります。
- 各ゾーンの整備イメージは以下のとおり。



親子ゾーン

親子で一緒に遊べるエリア

- 見通しの良い広場に**幼児向け遊具**があります。
- 東屋**と**水飲み場**があり、**安全**に遊ぶことができます。

【主な整備】

- ・ 幼児用遊具
- ・ 緑の最適化
- ・ 防護柵
- ・ 遊歩道
- ・ 照明灯
- ・ ベンチ
- ・ 手洗い・水飲み場・東屋

整備前

整備後

うるおいゾーン

四季と水辺を感じながら、散歩や通学ができるエリア

- 水辺空間**を感じながらの**散歩**や**通学**、**ベンチ**と**東屋**、**開放的な広場**での**休憩・談話**ができます。
- 遊歩道に連続的に**照明灯**を設置し、**夕暮れ時も安心して**利用できます。

【主な整備】

- ・ 芝生広場・花壇
- ・ 緑の最適化
- ・ 防護柵・東屋
- ・ 遊歩道
- ・ 照明灯
- ・ ベンチ

整備前

整備後

桜並木ゾーン

桜並木に親しめるエリア

- 日中は**園路**で**ランニング**や**ウォーキング**ができます。
- 既存の桜並木を活かし、春は**お花見**が楽しめます。
- 北側に**多目的広場**を設け、**イベント広場**として活用できます。

【主な整備】

- ・ 多目的広場
- ・ 緑の最適化
- ・ 防護柵
- ・ 遊歩道
- ・ ベンチ
- ・ 手洗い・水飲み場

整備前

整備後

※イメージであるため、実際の形状と異なることがあります。